

浦添市市制施行50周年記念展・令和2年度第1期常設展

アジアを紡ぐ展

— 絣・焼物 —

2020.
6/11(木)
9/6(日)

令和2年度第1期常設展と連動して企画展示室では当館所蔵品を中心に「絣」と「焼物」を展示します。

絣織は、糸を染め分けてから文様を表す織物技法で、6世紀頃のインドで発祥したとされています。インドネシアやタイ、日本さらに琉球などでも特色ある絣織が展開しました。

「絣」は、館蔵品の平良敏子氏(人間国宝)作の芭蕉の絣織や日本の絵絣、東南アジアの絣織などを紹介します。アジアの絣織の様々な表情をお楽しみください。

「焼物」は、主に琉球や中国、日本の陶磁器を紹介します。焼物の持つ魅力とともに、中国や日本、東南アジアの影響を受けて琉球陶器が形づくられていったさまを垣間見ることができでしょう。

琉球を含むアジアの工芸が交流で繋がり、紡がれ、影響を受けつつ発展したことを作品を通して感じて頂ければ幸いです。



芭蕉布裂 沖縄 平良敏子氏 作 20世紀



木綿地鯉の滝登り模様絣裂 日本



絣・浮織 織 ラオス(個人蔵)



鉄絵碗 湧田 18世紀



青花碗 中国(福建・広東)
17世紀後半～18世紀前半

場 所 浦添市美術館 企画展示室

開館時間 9:30～17:00 ※毎週金曜日は19時まで(入館は各30分前まで) **休館日** 毎週月曜日(8/10は開館)

観覧料 一般200(160)円 / 大学生130(100)円 / 65歳以上160円 / 高校生以下無料
※()内は20名以上の団体料金

主催・お問い合わせ

住所 〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1-9-2

電話 098・879・3219

浦添市美術館 検索
museum.city.urasoie.lg.jp



浦添市美術館
URASOE ART MUSEUM